



事業実施内容

同社は2021年12月からベナンで実施している分散型通信システム「d.CONNECT」について、Dots forの「d.CONNECT」を利用した経験があるスマートフォン所有者の48%が実際に課金をしてでも継続利用したいと意思表示をするなどの一定の有効性を得ることができている。今回の事業においては、ベナンで弊社が解決しようとする課題とその解決方法「d.CONNECT」やビジネスモデルがセネガルでも再現性があることを確認することを目的としている。具体的には、セネガルの地域15村にd.CONNECTを導入し、セネガル農村マーケットの理解およびd.CONNECTを導入した村々におけるスマートフォン所有者に対してのDots forのサービスd.CONNECTを利用してもらった上での継続利用意思の確認した。



事業成果

ベナンと比較してセネガルの村あたりのスマートフォン所有率は高く、村内の既存通信網への接続状況に関わらず大きく上回っていたが、村の中の所得の違いに寄与していることが分かった。また、ベナンに比べて支払い意思額が1.4倍ほど高く、その違いは村の中や村周辺での既存通信網に対する接続可否が強く反映されている。より繋がりやすい地域では、d.CONNECTの提供価値が相対的に低くなり、それが支払意思額の低さに反映されているといえる一方で、周辺地域も含めてほとんどつながらない地域では1.4倍の価格でも利用したいという声が多かった。この結果は、今後の経営資源の配分に際して重要な情報となった。

事業の進捗

本事業の結果を元に、セネガル現地法人の設立を行いセネガルでの活動を本格化させた。